



2025年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月15日
東

上場会社名 株式会社グッドパッチ 上場取引所
コード番号 7351 URL <https://goodpatch.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土屋 尚史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 榎島 俊幸 (TEL) 03(6416)9238
定時株主総会開催予定日 2025年11月26日 配当支払開始予定日 2025年11月27日
有価証券報告書提出予定日 2025年11月27日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期の連結業績(2024年9月1日～2025年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期	5,085	29.0	557	—	613	—	407	—
2024年8月期	3,942	0.4	34	△88.4	46	△84.4	11	△94.7

(注) 包括利益 2025年8月期 418百万円(—%) 2024年8月期 11百万円(△94.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年8月期	46.35	46.10	10.2	12.4	11.0
2024年8月期	1.27	1.26	0.3	1.0	0.9

(参考) 持分法投資損益 2025年8月期 21百万円 2024年8月期 15百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期	5,245	4,145	78.6	471.94
2024年8月期	4,676	3,872	82.3	425.75

(参考) 自己資本 2025年8月期 4,121百万円 2024年8月期 3,850百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年8月期	844	△1,075	△310	2,733
2024年8月期	△57	△58	116	3,275

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期	—	0.00	—	10.00	10.00	—	21.6	2.2
2026年8月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		21.4	

3. 2026年8月期の連結業績予想(2025年9月1日～2026年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	5,600	10.1	560	0.5	632	3.1	409	0.5	46.83

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名)株式会社ピープルアンドデザイン 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2025年8月期	9,246,620株	2024年8月期	9,218,180株
2025年8月期	512,827株	2024年8月期	174,205株
2025年8月期	8,782,327株	2024年8月期	9,083,093株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年8月期の個別業績 (2024年9月1日~2025年8月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期	4,312	25.8	459	525.5	498	550.5	351	647.2
2024年8月期	3,428	3.4	73	△78.4	76	△78.2	47	△82.9
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年8月期	40.01		39.80					
2024年8月期	5.18		5.14					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
2025年8月期	5,121		4,217		81.9	480.24
2024年8月期	4,713		3,995		84.3	439.31

(参考) 自己資本 2025年8月期 4,194百万円 2024年8月期 3,973百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料のP. 5「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により、緩やかに回復しております。一方で、アメリカの政策動向や金融資本市場の変動、物価上昇及び個人消費の低迷等の影響を受け、国内外における経済的な見通しは不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、各企業においては、持続的成長を実現するために、様々な対策を講じることや先行投資等に注力する傾向が見られております。特に、デジタルトランスフォーメーション(DX)(注1)やAI(人工知能)の活用による事業革新や業務効率化、さらには新たな価値創出に向けた投資は加速しております。加えて、社会課題への対応やステークホルダーとの関係強化に、企業の存在意義や目指す方向性を明確化し、ミッションの再構築に取り組む企業が増加しています。これに伴い、課題解決力やビジネスデザイン、企画を支援する外部パートナーへの需要も一層高まっております。

このような環境の中、当社グループは「ハートを揺さぶるデザインで世界を前進させる」というビジョンのもと、「デザインの力を証明する」というミッションを掲げて、「デザイン」を通じて人々の生活がより便利になり、より暮らしやすくなることを目指し事業活動を推進してまいりました。

主要事業であるデザインパートナー事業においては、当社の強みである戦略デザインやUI/UXデザイン(注2)と、連結子会社である株式会社スタジオディテイルズの強みである質の高いクリエイティブとブランディングを融合し、顧客企業のさらなる期待に応えられるよう、デザイン支援の提供を行ってまいりました。また、デザインプラットフォーム事業においては、デザイナー人材紹介サービス「ReDesigner」やオンラインホワイトボードツール「Strap」を中心に、デザインパートナー事業で培ったノウハウやブランドを有効活用しながら、事業を推進しております。

以上の結果、当社グループの当連結会計年度の業績は、売上高は5,085,553千円(前連結会計年度比29.0%増)、営業利益は557,483千円(前連結会計年度比1,514.7%増)、経常利益は613,021千円(前連結会計年度比1,212.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は407,051千円(前連結会計年度比3,429.5%増)となりました。

報告セグメント別の業績の状況は以下のとおりであります。

① デザインパートナー事業

デザインパートナー事業は、顧客企業と当社のデザイナーが一体となりプロジェクト形式で包括的なデザインサービスを提供しております。最初に、サービスやブランド等の新たな価値を創出したい顧客企業とともにプロジェクトチームを立ち上げ、プロジェクトで解決する課題を抽出します。プロジェクトが開始されると、本質的な価値の発見が行われ、顧客企業の独自の強みや特徴が明らかにされます。このフェーズでは、プロジェクトチームが顧客企業と緊密に連携し、価値の源泉を特定し、その価値を洗練するための手段・プロセスの検討が行われます。次に、顧客企業の利用者(ユーザー)を特定し、ユーザーにとって利用しやすいものとなるよう、ユーザーの価値観に合致するデザインが開発されます。このフェーズでは、プロジェクトチームはデザインの詳細な要件を抽出し、ユーザーフィードバックを絶えず取り入れて調整を行います。こうして生み出されたデザインは顧客企業の戦略とブランディング活動に統合され、企業のビジョンと目標に紐づく事業活動に一貫性をもたらしめます。なお、アプリケーションのUI/UXデザイン開発においては、当社のエンジニアリングチームもプロジェクトに参画し、実際のデジタルプロダクトの構築を行うことがあります。これら一連のプロセスを通じて、顧客企業は既存のビジネスプロセスをデジタル化し、イノベーションを促進でき、効率性の向上や新しい価値の提供が可能となります。

近年DXが注目を集め、企業がデジタル領域において変革を求められる状況の中で、デザインの持つ役割の重要性は益々高まっております。そのような状況の中、デザインパートナー事業では、数多くのデジタルデザイン支援の知見を集約し、経験豊富なデザイナーを集め、育成することで、より多くの企業に対して、高品質なデザイン支援を行うことが可能になります。そのため、デザインパートナー事業はデザイナーの採用活動を積極的に行い、提供リソースであるデザイナー人員を拡大するとともに、より幅広い業種業態の顧客企業に対してデザイン支援を実施してまいりました。また、日本国内の正社員デザイン部門及び「Goodpatch Anywhere」における営業リードの共有に加え、プロジェクト獲得やデザイナーリソースの連携を行ってまいりました。

当連結会計年度においては、株式会社スタジオディテイルズ及びGoodpatch Anywhereを含むプロジェクト提供を行った顧客社数(注3)は62.0社(前年同期は51.9社、前年同期比19.4%増)、月額平均顧客単価(注4)は6,075千円(前年同期は5,497千円、前年同期比10.5%増)となりました。新規顧客の開拓及び既存顧客の深耕に向けて、マーケティングの強化やプロジェクト受注体制の改善等に注力することで、月額平均顧客単価は増加しました。

また、社内デザイン組織のデザイナー数は、当連結会計年度末において149名(前年同期比7.5%減)、「Goodpatch Anywhere」の所属デザイナー数は635名(前年同期比7.6%増、うち稼働デザイナー数は50名、前年同期比22.0%増)となりました。

以上の結果、当連結会計年度におけるデザインパートナー事業の外部顧客への売上高は4,696,146千円(前連結会計年度比30.6%増)、営業利益は611,551千円(前連結会計年度比376.4%増)となりました。

(デザインパートナー事業のKPI推移)

	2023年8月期			2024年8月期			2025年8月期			
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	前年同期比
顧客社数(社)	46.8	58.5	52.7	53.8	50.0	51.9	60.8	63.2	62.0	19.4%
月額平均顧客単価 (千円)	5,681	5,267	5,474	5,601	5,394	5,497	6,045	6,105	6,075	10.5%

※Goodpatch Anywhereを含めた数値を記載しております。

② デザインプラットフォーム事業

デザインプラットフォーム事業は、デザインパートナー事業によって行われるUI/UXデザイン支援を様々な側面からサポートするサービスを提供しております。具体的には、自社で構築したデザイン人材プールを活用したデザイナー採用支援サービス「ReDesigner」やSaaS型のオンラインホワイトボードツール「Strap」で構成され、それぞれのシナジーを創出し、デザインに関連したビジネスの拡大を行うものとなります。

当連結会計年度において、「ReDesigner」は、ダイレクトリクルーティング機能が登録者数および契約社数の増加に貢献しております。また、「Strap」においては、機能開発を進めるとともに、企業の研修ニーズを捉えた導入支援を経て、導入規模の拡大を図っております。

以上の結果、当連結会計年度におけるデザインプラットフォーム事業の外部顧客への売上高は389,406千円(前連結会計年度比12.1%増)、営業損失は54,067千円(前連結会計年度は93,845千円の営業損失)となりました。

- (注) 1. デジタルトランスフォーメーション(DX)とはDigital Transformationの略語で、企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客企業や社会ニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立することを意味します。
2. UI(User Interface/ユーザーインターフェース)とは、「ユーザーがPCやスマートフォン等のデバイスとやり取りをする際の入力や表示方法などの仕組み」を意味します。またUX(User Experience/ユーザーエクスペリエンス)は「サービスなどによって得られるユーザー体験」のことを指します。
3. 顧客社数とは、デザインパートナー事業において、当社グループとデザインプロジェクトを進めるために契約した顧客企業の社数を指しており、1か月にデザイン支援を提供した顧客社数の当該期間の平均値を示しています。
4. 月額平均顧客単価とは、四半期ごとの売上高を顧客社数で除した数値の平均値を示しています。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ443,596千円減少し、3,395,698千円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少542,011千円、未収還付法人税等の減少48,766千円、前払費用の減少24,347千円があった一方で、売掛金及び契約資産の増加156,553千円があったこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,013,021千円増加し、1,849,729千円となりました。主な要因は、投資有価証券の増加1,108,142千円があった一方で、のれん償却に伴うのれんの減少63,467千円、繰延税金資産の減少22,454千円があったこと等によるものであります。

この結果、当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ569,424千円増加し、5,245,428千円となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ423,124千円増加し、956,456千円となりました。主な要因は、未払法人税等の増加204,499千円、賞与引当金の増加98,461千円、未払消費税等の増加78,249千円があった一方で、1年内返済予定の長期借入金の減少31,989千円があったこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ126,497千円減少し、143,793千円となりました。主な要因は、長期借入金の減少130,423千円があったこと等によるものであります。

この結果、当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ296,627千円増加し、1,100,250千円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末と比べ272,796千円増加し、4,145,177千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益計上に伴う利益剰余金の増加407,051千円があった一方で、自己株式の取得による減少150,068千円があったこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ542,011千円減少し、2,733,133千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは844,388千円の収入（前連結会計年度は57,122千円の支出）となりました。これは、売上債権及び契約資産の増加156,553千円、法人税等の支払額17,008千円等の減少要因があった一方で、税金等調整前当期純利益の計上621,156千円、賞与引当金の増加98,461千円、のれん償却額65,391千円、未払金の増加56,857千円等の増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは1,075,915千円の支出（前連結会計年度は58,487千円の支出）となりました。これは、投資有価証券の取得による支出1,077,134千円、有形固定資産の取得による支出2,324千円等の減少要因があった一方で、投資事業組合からの分配による収入4,608千円の増加要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは310,328千円の支出（前連結会計年度は116,901千円の収入）となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入4,560千円等の増加要因があった一方で、長期借入金の返済による支出162,412千円及び自己株式の取得による支出151,385千円の減少要因があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

2026年8月期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が見られる一方で、米国の政策動向や金融資本市場の変動、物価上昇、個人消費の低迷等の影響により、国内外の経済見通しは依然として不透明な状況が続くと考えられます。

また、AIやDXの進展により、社会や産業構造は大きな変革期を迎えています。AI市場は今後も持続的な成長が見込まれ、生成AIは単なる「コンテンツ生成ツール」を超え、社会インフラを支える「基盤技術」へと進化しています。マーケティングやデザイン生成、人手不足対応等、生産性向上のあらゆる領域で活用が広がり、実験段階から社会実装フェーズへと移行しています。

こうした環境下、日本企業では、持続的な成長の実現に向けて、先行投資や経営戦略への注力が一層進んでいます。特に、DXやAIの活用による事業革新・業務効率化、新たな企業価値の創出に向けた取り組みが加速しており、加えて、社会課題への対応やステークホルダーとの関係強化を目的に、企業の存在意義やミッションの再構築を行う動きも増加しています。

当社グループは、顧客企業の変革を支援すべく、「デザイン×AI」の取り組みを一層加速させています。強みであるUI/UXを起点に事業領域の拡大を進めるとともに、「AI Driven Design Company」として、AIを活用したサービスの高度化とAI領域への戦略的投資を推進し、日本のデザイン業界におけるリーディングカンパニーとしての地位を確立しつつ、次なる成長フェーズへと歩みを進めてまいります。

当社グループの事業セグメントにおける状況は次のとおりであります。

デザインパートナー事業においては、AI活用を進め高付加価値、高効率なアウトプットを提供することで、業績拡大を図ってまいります。今後は、顧客企業ごとのニーズに応じたカスタマイズ提案を通じて、ソリューションの幅を拡張していく方針です。具体的には、UI/UX、事業創出・組織づくり、コーポレートブランディング等の領域に特化したソリューションを開発、提供してまいります。

また、AI関連案件の獲得を優先的に進め、ノウハウやナレッジの蓄積を図るとともに、各種デザイン業務におけるAI活用を推進することで、業務のスピードとクオリティの両立を実現してまいります。AIリテラシーを底上げしながら、「デザイン×AI」の取り組みを一層加速させてまいります。

デザインプラットフォーム事業においては、コア事業であるデザインパートナー事業周辺の人材・ソフトウェア領域を深耕し、事業全体の拡大をサポートしております。具体的には、人材紹介サービス「ReDesigner」において、全てのデザイナーのためのキャリア支援プラットフォームを目指しビジネス領域を広げ、デザイン人材のダイレクトリクルーティングのプラットフォームへと拡大させていきます。そして、AIを十分に活用できていないユーザー課題の解消に向けて、誰もが簡単にAIを活用できる環境の提供を進め、オンラインホワイトボードツール「Strap」の機能開発を進めてまいります。

上記の考えに基づき、2026年8月期の連結業績予想は、売上高5,600百万円（前連結会計年度比10.1%増）、営業利益560百万円（前連結会計年度比0.5%増）、経常利益632百万円（前連結会計年度比3.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益409百万円（前連結会計年度比0.5%増）を見込んでおります。今後、業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当連結会計年度 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,275,145	2,733,133
売掛金及び契約資産	427,708	584,262
仕掛品	2,884	9,565
前払費用	79,830	55,483
未収還付法人税等	48,772	6
その他	4,953	13,247
流動資産合計	3,839,295	3,395,698
固定資産		
有形固定資産		
建物	75,179	75,179
減価償却累計額	△37,019	△42,101
建物（純額）	38,160	33,078
工具、器具及び備品	81,552	59,906
減価償却累計額	△71,834	△52,652
工具、器具及び備品（純額）	9,717	7,254
リース資産	-	9,680
減価償却累計額	-	△1,152
リース資産（純額）	-	8,527
有形固定資産合計	47,877	48,860
無形固定資産		
商標権	1,493	1,247
のれん	412,538	349,070
顧客関連資産	53,444	45,222
無形固定資産合計	467,475	395,540
投資その他の資産		
投資有価証券	202,017	1,310,160
敷金及び保証金	22,827	23,325
繰延税金資産	74,017	51,563
その他	22,492	20,279
投資その他の資産合計	321,355	1,405,328
固定資産合計	836,708	1,849,729
資産合計	4,676,003	5,245,428

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当連結会計年度 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,192	99,609
1年内返済予定の長期借入金	162,412	130,423
未払金	85,434	142,063
未払費用	40,766	39,493
未払法人税等	15,388	219,888
未払消費税等	34,684	112,933
契約負債	76,054	61,599
リース債務	-	1,367
預り金	49,524	48,730
賞与引当金	1,885	100,347
その他	3,989	-
流動負債合計	533,332	956,456
固定負債		
長期借入金	238,849	108,426
リース債務	-	8,188
資産除去債務	11,592	11,608
繰延税金負債	19,848	15,570
固定負債合計	270,290	143,793
負債合計	803,622	1,100,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,772,244	1,774,543
資本剰余金	1,767,244	1,761,139
利益剰余金	414,192	821,244
自己株式	△100,100	△250,168
株主資本合計	3,853,580	4,106,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△60	15,192
為替換算調整勘定	△3,069	△128
その他の包括利益累計額合計	△3,130	15,064
新株予約権	21,930	23,353
純資産合計	3,872,380	4,145,177
負債純資産合計	4,676,003	5,245,428

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
売上高	3,942,967	5,085,553
売上原価	1,759,846	2,143,028
売上総利益	2,183,121	2,942,524
販売費及び一般管理費	2,148,595	2,385,040
営業利益	34,526	557,483
営業外収益		
受取利息	546	4,267
受取配当金	-	33,762
持分法による投資利益	15,160	21,741
為替差益	133	369
その他	2,877	3,416
営業外収益合計	18,718	63,558
営業外費用		
支払利息	1,540	2,392
株式交付費	168	38
新株予約権発行費	552	552
違約金	-	1,664
投資事業組合運用損	2,816	1,514
支払手数料	917	1,317
その他	549	542
営業外費用合計	6,544	8,021
経常利益	46,699	613,021
特別利益		
関係会社清算益	-	971
新株予約権戻入益	729	7,164
特別利益合計	729	8,135
税金等調整前当期純利益	47,429	621,156
法人税、住民税及び事業税	17,024	210,601
法人税等調整額	18,872	10,058
法人税等合計	35,896	220,660
当期純利益	11,532	400,496
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	-	△6,555
親会社株主に帰属する当期純利益	11,532	407,051

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
当期純利益	11,532	400,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	15,253
為替換算調整勘定	29	2,941
その他の包括利益合計	△30	18,194
包括利益	11,502	418,691
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	11,502	425,246
非支配株主に係る包括利益	-	△6,555

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,767,520	1,762,520	402,659	△110	3,932,589
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）	4,724	4,724			9,448
親会社株主に帰属する当期純利益			11,532		11,532
自己株式の取得				△99,989	△99,989
新株予約権の発行					-
新株予約権の失効					-
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	4,724	4,724	11,532	△99,989	△79,008
当期末残高	1,772,244	1,767,244	414,192	△100,100	3,853,580

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	-	△3,099	△3,099	14,135	3,943,626
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）					9,448
親会社株主に帰属する当期純利益					11,532
自己株式の取得					△99,989
新株予約権の発行				8,524	8,524
新株予約権の失効				△729	△729
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△60	29	△30	-	△30
当期変動額合計	△60	29	△30	7,794	△71,245
当期末残高	△60	△3,069	△3,130	21,930	3,872,380

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,772,244	1,767,244	414,192	△100,100	3,853,580
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）	2,299	2,299			4,598
親会社株主に帰属する当期純利益			407,051		407,051
自己株式の取得				△150,068	△150,068
新株予約権の発行					-
新株予約権の失効					-
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△8,403			△8,403
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	2,299	△6,104	407,051	△150,068	253,178
当期末残高	1,774,543	1,761,139	821,244	△250,168	4,106,759

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△60	△3,069	△3,130	21,930	3,872,380
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）					4,598
親会社株主に帰属する当期純利益					407,051
自己株式の取得					△150,068
新株予約権の発行				8,587	8,587
新株予約権の失効				△7,164	△7,164
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					△8,403
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	15,253	2,941	18,194	-	18,194
当期変動額合計	15,253	2,941	18,194	1,423	272,796
当期末残高	15,192	△128	15,064	23,353	4,145,177

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	47,429	621,156
減価償却費	20,365	19,386
のれん償却額	63,467	65,391
持分法による投資損益 (△は益)	△15,160	△21,741
関係会社清算益	-	△971
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,885	98,461
受取利息	△546	△4,267
支払利息	1,540	2,392
株式交付費	168	38
新株予約権発行費	552	-
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	27,972	△156,553
棚卸資産の増減額 (△は増加)	8,546	△6,681
前払費用の増減額 (△は増加)	△30,456	24,299
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,222	36,416
未払金の増減額 (△は減少)	△47,493	56,857
預り金の増減額 (△は減少)	22,377	△450
未払費用の増減額 (△は減少)	△22,070	△448
契約負債の増減額 (△は減少)	15,065	△14,454
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△18,572	78,273
その他	4,710	12,545
小計	71,560	809,648
利息及び配当金の受取額	266	4,058
利息の支払額	△1,659	△2,346
法人税等の支払額	△139,941	△17,008
法人税等の還付額	12,652	50,037
営業活動によるキャッシュ・フロー	△57,122	844,388
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,067	△2,324
投資有価証券の取得による支出	△50,000	△1,077,134
投資事業組合からの分配による収入	5,007	4,608
敷金及び保証金の差入による支出	△427	△1,397
その他	-	333
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,487	△1,075,915

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	350,000	-
長期借入金の返済による支出	△141,470	△162,412
新株予約権の行使による株式の発行による収入	9,279	4,560
自己株式の取得による支出	△100,907	△151,385
非支配株主からの払込みによる収入	-	24,500
リース債務の返済による支出	-	△1,091
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△24,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	116,901	△310,328
現金及び現金同等物に係る換算差額	66	△156
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,358	△542,011
現金及び現金同等物の期首残高	3,273,786	3,275,145
現金及び現金同等物の期末残高	3,275,145	2,733,133

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象になっているものであります。

当社グループは、「デザインパートナー事業」と「デザインプラットフォーム事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属するサービスの種類

「デザインパートナー事業」は、Webサイトやアプリケーション等のデジタルプロダクトをはじめとしたUI/UXデザイン支援、アプリケーション開発、新規事業の検証やアイデアを創出するための支援を行っております。

「デザインプラットフォーム事業」は、デザインパートナー事業によって行われるUI/UXデザイン支援を様々な側面からサポートするサービスを提供しております。自社で構築したデザイン人材プールを活用したデザイナー採用支援サービス「ReDesigner」、SaaS型のオンラインホワイトボードツール「Strap」を提供しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務 諸表計上額
	デザイン パートナー事業	デザイン プラットフォーム 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	3,595,566	347,401	3,942,967	—	3,942,967
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,595,566	347,401	3,942,967	—	3,942,967
セグメント利益又は 損失(△)	128,371	△93,845	34,526	—	34,526
その他の項目					
減価償却費	18,872	1,493	20,365	—	20,365
のれんの償却額	63,467	—	63,467	—	63,467
持分法投資利益	15,160	—	15,160	—	15,160
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	6,657	—	6,657	—	6,657

(注) 1. セグメント利益又は損失の合計額は連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント資産及び負債の金額については、事業セグメントに資産及び負債を配分していないため記載しておりません。ただし、配分されていない資産の減価償却費等は、合理的な配賦基準で各事業セグメントへ配賦しております。

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務 諸表計上額
	デザイン パートナー事業	デザイン プラットフォーム 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	4,696,146	389,406	5,085,553	—	5,085,553
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,696,146	389,406	5,085,553	—	5,085,553
セグメント利益又は 損失(△)	611,551	△54,067	557,483	—	557,483
その他の項目					
減価償却費	18,067	1,318	19,386	—	19,386
のれんの償却額	63,467	1,923	65,391	—	65,391
持分法投資利益	21,741	—	21,741	—	21,741

(注) 1. セグメント利益又は損失の合計額は連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント資産及び負債の金額については、事業セグメントに資産及び負債を配分していないため記載しておりません。ただし、配分されていない資産の減価償却費等は、合理的な配賦基準で各事業セグメントへ配賦しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり純資産額	425.75円	471.94円
1株当たり当期純利益	1.27円	46.35円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	1.26円	46.10円

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	11,532	407,051
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	11,532	407,051
普通株式の期中平均株式数(株)	9,083,093	8,782,327
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	72,755	47,053
(うち新株予約権(株))	(72,755)	(47,053)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第8回新株予約権 新株予約権の数 389個 (普通株式 38,900株) 第9回新株予約権 新株予約権の数 410個 (普通株式 41,000株)	第8回新株予約権 新株予約権の数 285個 (普通株式 28,500株) 第9回新株予約権 新株予約権の数 277個 (普通株式 27,700株)

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当連結会計年度 (2025年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,872,380	4,145,177
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	21,930	23,353
(うち新株予約権(千円))	(21,930)	(23,353)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,850,450	4,121,824
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	9,043,975	8,733,793

(重要な後発事象)

該当事項はありません。